

わくわく橘っ子



人権教育便り
NO. 5
令和4年9月

～人権啓発標語、ありがとうございました～

夏休み、お子様と世の中や学校生活での人権についてゆっくりと話し合っただき、ありがとうございました。たくさん応募いただいた中から、一部紹介します。

(人権啓発標語)

〔児童の部〕

- ひとりひとりがちがうから ひとりひとりがかがやける
1年 中村 愛葵
- あいさつで みんなとなかよし きずなのわ
2年 計盛 葵
- 人生百年 自分らしく 生きていく
3年 鹿島 凜子
- その言葉 どう伝わるか 考えて
4年 ・岡穂乃花
- 差しのべた 手からあふれる みんなの笑顔
5年 岡部 莉緒
- 絶やさない 笑顔の花を 守りぬく
6年 時松 亘

〔保護者の部〕

- 気付いてる？ 明日が来ること 奇跡だと
程野 麻紀さん
- 「大丈夫？」その一言で 救われる
心をつなぐ 愛言葉
長池 良文さん
(あいことば)



～人権啓発ポスターを描きました～

人権学習の一環として、それぞれの人権を大切にできるクラスや学校について、各学年で学習し、めざしたい社会や学校像をポスターに描きました。一部紹介します。



6年 岡山 桜亮



5年 高島 心愛



3年 瀧 縁糸



4年 池添 莉旦



2年 岡部 柚良



1年 宮繁 心花

～夏だけと 小春日和コーナー～

クーラーで心まで冷えてしまうことのないように、思わず笑ってしまうような子どもたちのかわいい言動や、日常生活での心温まる場面を紹介します。

○お昼休みの運動場。草むらのバッタやダンゴムシを捕まえたり観察したりの子どもたち。

「バッタって何食べるんだろう？」
「やっぱり、草かな？」
「ぼく、知ってる。なすびとか食べるよ。」
「家のピーマン、ダンゴムシにかじられたよ。」
「えー！すごい～～。」

ピーマンが苦手な子が、ダンゴムシを尊敬するように叫びました。

○教室での一コマ。お手紙を後ろの席の子に配っていたとき。どの列でも、大きな声で

「はい、どうぞ。」「ありがとう！」
一日の終わり、心がほっこりしました。